

⑤ 「適材適所の考え方から変えてみる」 マネージャー 木戸 貴也 (中小企業診断士)

「工場長」や「営業課長」などのようなポストを考える際、「適任者がいないな」や「適材適所で配置したいな」と考えることはないでしょうか。事業規模の拡大や新事業の展開、社員の異動や入退社などによって、社内の体制や組織構造が変化することがあります。このような人事異動や採用を検討する際、適材適所の考えに沿って、個人を役割に当てはめることがあります。

組織を作っていく中で、適材適所も大事なのですが、現実的には、役割にバッチリとハマる人材は中々いないものですし、特に中小零細企業であれば新たに採用してポストを埋めることも容易ではありません。そこで、役割・役職に必要な人材を育てる、集めるのではなく、人材を役割・役職などのポストへ適応されることを考えます。初めは、「彼に工場長は大丈夫だろうか?」、「営業に向いていないのではないだろうか?」と心配することもあり、社員側も「自分に管理職は務まらない」、「自分はお客様と話をするのが苦手で営業には向いていない」と勝手に制限をかけてしまいます。初めは無理かもと思っただけでも真剣に向き合うことで少しずつコツがわかってきたり、意外と向いていたのではと気付いたりするものです。多くの苦労もあるとは思いますが、これにより、会社としても人材の有無や成長度合いによって事業拡大がグリップされることが無く、個人としても会社で求められることに適応していくことで、想像を超えて成長することもできます。社会情勢の変化が目まぐるしく、会社としては本当に欲しい人材を採用しにくい環境であり、個人としても10年、20年先のキャリア形成を想像しにくい時代でもあるため、今いる人材の活用と目の前にある仕事を受け入れることで、会社も個人も共に成長できるのではないかと思います。



⑥ 「背景の異なる人から学ぶ」 ビジネスアナリスト 杉本 貴弘 (中小企業診断士)

つい先日、昨年まで通っていた福岡県中小企業診断士登録養成課程の同窓会に参加するため、博多に行ってきました。1年ぶりに再会した戦友達は、それぞれ診断士として独立した人や企業内で活躍する人など様々ですが、皆変わらず元気そうで、この1年の活動報告や養成課程での思い出話に花を咲かせ、楽しいひと時を過ごしました。養成課程では年齢や性別、これまでの経歴などバックグラウンドが異なる様々な人たちが集まります。そのため、自分がこれまでかかわったことが無い分野の話の聞いたり考え方を学んだりすることができました。社会人になってから、同じ志を持って1年以上も同じメンバーで学ぶ機会など滅多に無いことで、貴重な経験ができたと思います。今はセミナーや研修などが数多く存在し、グループワークを行うことで仕事上では出会うことの無い異なる背景を持った人と、受講者として対等な立場で会話し、繋がりを持つことができます。セミナーでは学生の参加者も見受けられますし、若い人こそ積極的に参加し、学びの機会を持って成長の糧にして欲しいと思います。

(写真は博多で足繁く通ったお店の焼きそばです)



⑦ 「自分がしたいこと≠顧客が求めること」 ビジネスアナリスト 伊藤 侑加

先日、時折利用していた天満のワイン BAR が業態転換を行い、日本酒専門 BAR になりました。事業は軌道に乗っており、固定客も一定数いる中での業態転換。思わず店主さんに「なんでワインから日本酒に変更したのですか?」と尋ねたところ、「1人でも気軽に入れる日本酒のお店が近隣にないという話を時々聞くから。本当はワインのほうが好きだからワインをしておきたかったけどね。」との答えが返ってきました。ワインの提供を止めたことについて少し寂しそうな表情をされた店主ですが、今後の事業の方向性の話をされる際にはとても明るく、力が漲っている様子でした。業態転換とは異なりますが、弊社でも、現在、事業の拡大と事業者様へのご支援内容の拡充のため、新サービスの開発を行っております。我々の考えるご支援内容が事業者様が求めている内容と合致しているか、価値あるご支援が出来るのか考えながら開発を進めていきたいと思っております。



⑧ 「就活で重視したこと」 ビジネスアナリスト 秋定 皇輝

今月から社会人2年目となりました。1年目はすぐに過ぎ去り、気付けば後輩ができるかも、という状況になっていました。なぜそのような状況かと言いますと、弊社では今年の頭から新卒採用が本格的にスタートし、少しではあるものの情報発信の部分で携わることとなりました。自分が就活をしている際に何を見ていたか、どこに惹かれたかを思い返してみると、どんな方と一緒に働くことになるのか等の人間関係を最重視していたことを思い出しました。実際に、「就活の際に企業選びで重視することは?」というアンケートにおいて、仕事内容に次いで、一緒に働く社員との相性がランクインしています。仕事内容は就活サイトやHP などである程度知ることができますが、人間関係を知ることは難しいので、特に力を入れて情報発信していきたいと思っております。



⑤ 「ディズニーランドに見る組織作り」 ビジネスアナリスト 梶本 啓嗣



先日、家族で東京ディズニーランドに行ってきました。天候はあいにくの雨でしたが、初めて東京ディズニーランドに行きましたので、それなりに楽しめました。驚かされたのがディズニーランドで働くキャストの方の立ち回りや気遣い、さらにはお客様の事をよく観察し行動しているという点です。社員教育や研修が徹底されているのだと思いますが、調べてみるとディズニーランドには機械の操作方法などのマニュアルはあるものの、働く人材の自主性を高めるため接客マニュアルなどは無いそうです。

あれほどの人数のキャストが共通の認識を持ち、顧客にサービスを提供することができる組織として成立していることが、素直に素晴らしいと思うとともに、何か自社やお客様にとってヒントとなることに繋がらないのかと一流の働き方を見て考えさせられました。



⑥ 「新たな生活スタイルについて」 ビジネスアナリスト 江口 京



新年度が始まりました。春の訪れと共に、新たな出会いや挑戦が待ち受けています。この機会に、自分のライフスタイルを見直してみるのはいかがでしょうか。新生活には、新しい出会いや環境が待っています。新しい友達や同僚とのコミュニケーションを大切に、新しい環境で自分自身を成長させていきましょう。自分のやりたいことや好きなことを見つけ、そのためにどのようなスケジュールを組めば良いか、何を達成していくべきかを考えます。新たな趣味を始めたり、身体を動かすことでストレス解消に繋がったりしてもいいかもしれません。また、仕事上でのスキルアップや新しいことに挑戦することも大切です。自分の可能性を広げることで、仕事でもプライベートでも自信や成長を感じることができます。

⑦ 「収支を可視化する」 ビジネスアナリスト 杉原 千尋

いつもやろうと思い立っては挫折していた「家計簿の作成」。この3月はようやくやりきることができました。使用頻度の割には通信費が高額であったり、エンゲル係数が高かったり…。自覚していたことが数字として可視化されることで、支出を見直すための具体的な行動に繋がっています。(足掛かりとして、なんとなく継続契約していたモバイルルーターを解約し、携帯の通信会社をMVNOに変更する手続きを進めています) 企業が試算表と資金繰り表を作成することも、個人が家計簿をつけることとほとんど同じです。経営を改善しようと思っても、何が問題になっているのかが見えなければ、どう変えなければいけないかは分かりません。また、具体的な内訳を見ないまま経費削減すると、本当に必要な部分を削ってしまい、サービス・商品品質の低下に繋がりがかねません。収支を正しく見直すためには、まずは数字を可視化することが第一です。



⑧ 「ヒドゥンカリキュラム」 ビジネスアナリスト 橋本 大治



ヒドゥンカリキュラムとは直訳すると「隠された教育内容」となり、教育学で使用される言葉です。例えば、教師が暴力的な側面を持っている、ゴミ拾いを行っている等、暗黙的に子供が学ぶルールや価値観のことを指します。教育学の概念であるため、あまり企業教育等に対しては使用されない概念ですが、ヒドゥンカリキュラムは学校教育の場に限らず、様々な集団において存在しています。これが社風の一側面ではないかと私は考えます。積極的にコミュニケーションをとる等、プラスに働けば良いですが、挨拶をしない、ルールを守らない、楽な方に流れる等、マイナスの面で働いていることも往々にしてあるのではないかと思います。このため、最近は自身の一挙手一投足が与える影響について意識するようになっています。

⑨ 「変化に気づき、言葉で伝える」 経理・総務 松野 あやか

先日、買い物に行った際、お気に入りの化粧品屋さんで、口紅のお試しをしていると、「服の系統変わりました？ストリート系もお似合いですね。」と店員さんが言ってくれました。また、「先日より少し痩せました？」と声をかけてくれました。もしかすると営業の一言かもしれませんが、相手の変化に気づき、言葉で伝えることは、相手を知りたい・相手に対して興味がなかったらできないと思います。変化に気づくのは難しく、私が気をつけていることは、日常における全ての事象に意味があると思い、知らないことや新しいことにアンテナを張り、周りを見渡して見ることです。私も最初から、相手の変化に敏感に気づいていたわけではなく、日常の出来事で、練習をし、相手に気を配ることを意識しているからです。業種や職種に関わらず、相手の変化に気づき、言葉で伝えることは大事なことだと改めて思いました。たった一言が、相手を元気にする・人間関係を良好にするコミュニケーションになるかもしれません。



発行元：株式会社フラッグシップ経営 経営革新等認定支援機関

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3丁目2-7 ORIX 高麗橋ビル5階

TEL：0120-34-8776

FAX：06-7635-8214

MAIL：info@flagship-keiei.co.jp

URL：www.flagship-keiei.co.jp



コンさる君の

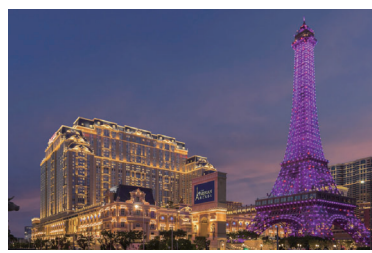
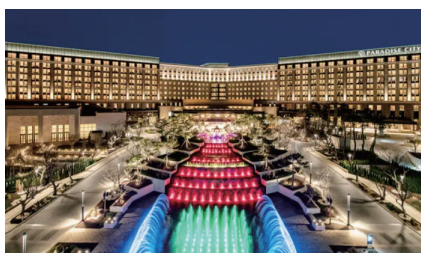
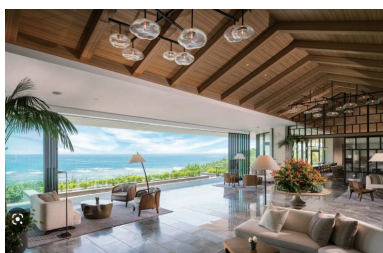
今日も視界良好 代表編

① 「心身ともにリフレッシュするぞー」 代表取締役 長尾 康行 (中小企業診断士)

皆さん、こんにちは。株式会社フラッグシップ経営代表、中小企業診断士の長尾です。ようやくコロナによる制限も緩和され、経済活動が活発化してきましたね。大阪も訪日外国人客が一気に戻ってきました。大阪のホテルはもう予約が難しいと聞きますし、繁華街の飲食店やドラッグストア、ブランド物のお店では日本語よりも外国語が多く聞こえてきます。

かくいう私はこの3年間、旅行や遊びはほぼ完全に封印して仕事、仕事、仕事でした。自分が本気で仕事に打ち込めば、会社が伸びるということは良く分かりましたが、最近では心身にダメージを負っているなど感じています。

「馬車馬のように働き、王様のように遊ぶ」が私のモットーですが、今は疲弊した馬車馬になってしまっているのです。これからはリフレッシュしながら、メリハリのある働き方を目指していきたいと思います。とにかく、今年は可能な限り国内外問わず旅行に行こうと思います。外国はアメリカ、シンガポール、韓国、マカオ、台湾には絶対に行こうと思いますし、沖縄のリゾートホテルで何もしない贅沢というのもやってみようと思います。



【左からハレクラニ沖縄、インチョン空港の近くにあるパラダイスシティ、マカオにあるパリジャン】

アメリカ本土とシンガポールは行ったことがないのですが、韓国、マカオ、台湾は何度行っても、また行きたいって思います。また、沖縄も行ったことがあります。リゾートホテルで何もしないというのをやってみたいです。これから夏にかけて、旅行の回数を増やして、心身ともにリフレッシュして、またエンジン全開で働きたいと思います。

ちょっとブレイク

先日、大阪の森之宮にあるNHKホールにあって朝ドラの「舞いあがれ！」のロケ地を見学に行ってきました。私は毎朝7時に自宅を出ますので、朝ドラを見る時間がないのですが、録画をして土曜や日曜にまとめて見えています。見始めるようになったのは前回の「ちむどんどん」からで朝ドラ歴は非常に浅いです。1話が15分と飽き性の私にはちょうど良く、休日にコーヒーを飲みながら3~4話程度を見るのがひそかな楽しみです。それにしてもロケ地は中々の人で賑わっていました。そして、目黒連くんの等身大パネルに大勢の女性が集まっていたのは言うまでもありません。



おすすめの店 「JOE'S SHANGHAI NEWYORK 大阪店」

一度行きたいと前から気になっていまして、ようやく行く機会ができたので行ってきました。店の雰囲気も良く、料理も美味しいので、接待にも利用しました。今月も接待1回、歓迎会1回でお邪魔させていただきます。皆様にも安心してお勧めできるお店です。

所在地：大阪府大阪市北区大深町 4-20

グランフロント大阪南館 8階 電話番号：050-3188-1173



代表取締役 長尾 康行



発行元：株式会社フラッグシップ経営 経営革新等認定支援機関

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋 3丁目 2-7 ORIX 高麗橋ビル 5階

TEL：0120-34-8776

FAX：06-7635-8214

MAIL：info@flagship-keiei.co.jp

URL：www.flagship-keiei.co.jp

